

1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

地域、企業、大学等について知りたい

【小学校・小学部】

- ・地域の企業と協力して学習することで、地元でしか学べないことを学んだり、地元の企業を知ることができる学習をする。

【中学校・中学部】

- ・地域の伝統やその歴史など、地域に根付いた学習がしたい。
- ・地域を学ぶ授業が小中学校からあってもいいと思う。自分の生まれた地域を知ることが自分を考える上で大事な土台になると思います。自分の暮らす市町村の強み・抱えてる問題、税金の流れ、そもそも誰が運営しているのか？市長を知ってる子はあまりいません。

【高等学校・高等部】

- ・自分の住む地域について学ぶことができる。小さい頃から暮らしている町でも高校になってから知る地元の良さがある。そういったものについて深く考えることができる。
- ・自分の興味・関心のある企業の仕事体験イベントを行ったり、現役大学生の合格体験を聞く場があって欲しい。

地域、企業、大学等と交流したい

【小学校・小学部】

- ・大学などは都会のほうに行ってしまう人が多いので、地域とつながりが強く、地域と一緒に学べるような高校。

【中学校・中学部】

- ・地域の方々との交流が深く、何か取り組みをする時に、応援してくれる高校。

【高等学校・高等部】

- ・様々な人と意見交流ができる場があると、視野が広がるからそのような場を提供してもらえる学校だと嬉しい。
- ・高校は子どもと大人の狭間なので大人とはどういうことかや社会で必要なことを学びたい。また、地域や大学、企業と連携して何かを作成したり交流を深めたりしたい。

1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

地域に貢献したい

【小学校・小学部】

- ・地域のためにゴミ拾いをしたり、なにか地域に貢献することができる高校にかよいたいなと思いました。
- ・地域などでこまったことが起きても自分たちの意見でどうすればいいのか考えられるようになりたいから。

【中学校・中学部】

- ・地域の方々と協力しあい、ボランティア活動に進んで取り組んでいきたいと思います。
- ・自分の住んでいる地域は過疎化が進んでいるので高齢者などを援助できる取り組みを地域で連携して行うことを高校でやってみたい。

【高等学校・高等部】

- ・地域に支えられているので地域に貢献できるような高校にしていきたい。
- ・地域との交流を深めるために、学校で挨拶運動をしたり、ボランティア出来るところがいいなと思います。勉強や進路等で仲間と切磋琢磨し、高め合えたらもっと良い学校になると思います。
- ・小中ではあまり直接的に地域と関わることがなかったので地域に直接貢献できるような機会を増やしたい。
- ・郷土芸能などの地域の伝承活動に力を入れている学校。

地域について探究したい

【小学校・小学部】

- ・地域で販売体験や職業体験などの体験をして仲間と共にいろいろな知識を深められる高校。

【中学校・中学部】

- ・自分の地域や企業と関連することはとても夢が広がっていいなと思いました。総合的な学習などを自分で選べて考えられる学校に通いたい。

【高等学校・高等部】

- ・地域や企業、行政と連携し一般教科以外の世の中のことや自分のやっているプロジェクトをサポートしてくれる体制があるといいと思う。
- ・地域の課題や、課題の解決策を考えたり地元の企業などと連携した学習を行い、自分の進路実現に向けて努力していきたい。
- ・実際に地域の企業や会社に行って、課題を見つける。そしてその課題を自分たちで考えて解決策を考える力を養うことができる高校に通いたいです。

1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

地域、企業、大学等の連携を将来に生かしたい

【小学校・小学部】

- ・将来の夢を探したり考えたりする時間や経験、知識が広がる授業になって欲しい。そして、育った地域を大切に、そこに住めるように、仕事があるように、高校時代の授業は大切だと思う。
- ・キャリア学習をして、将来に生かしたい。人間力を高めたい。

【中学校・中学部】

- ・地域や企業、大学との連携した学習をすることによって、社会で生きていく上での経験を得られると思うから。
- ・世の中に必要なこと、社会とどう関わっていけばよいかをより詳しく学んで、自律的な活動を増やしていきたい。

【高等学校・高等部】

- ・地域を支え地域に支えられる学校で学びたいです。そういった経験は必ず将来役に立つと思います。
- ・地域や企業、大学と連携することで、高校での学習の幅が広がると思う。就職や進学に対する意識がしやすくなると思う。
- ・一番身近な社会という世界に触れる機会であり、とても自分達の為になっていると思います。また、自分達の住んでいる町の現状を知り、進学するうえで何を学びたいかなどの新しい発見や動機づけのきっかけにもなっていてとてもいい経験になっています。これから先もぜひ続けて欲しいと思います。

高校を魅力化したい

【高等学校・高等部】

- ・地域に貢献出来るような高校に通いたい。また、地域に愛されるような高校に通いたい。
- ・地域との連携も大切だと思うけれど、他の地域からも興味を持ってもらえる学校になって欲しいです。

他の高校と連携したい

【中学校・中学部】

- ・他の地域の生徒や他の高校の生徒とも交流できるといいなと思います。

【高等学校・高等部】

- ・他校の生徒と合同で共通の学習内容について学び意見を交換する機会があると良いなと思いました。
- ・進学中心の高校と就職中心の高校とで交流があると面白いと思う。自分のあまり触れたことのない世界を体験するのは非常に学びになる。

1 地域、企業、大学等と連携した学習をすること

県教育委員会からのコメント

県立高校の現在の姿

- 各高校は、地域・企業・大学などと協力して、生徒を育てる方針を定めています。
- 生徒の能力を育てるため、また、地域などとのつながりを強めるために魅力ある高校づくりを進めています。
また、高校と地域が協力して、地域に貢献する人を育てることを進めています。
- 各高校と地域・企業・大学などと協力した活動が活発になっています。
- 岩手県の生徒は、地域に関わる意識が全国の生徒より高い傾向にあることがわかっています。
- 地域の人や企業などと高校を結び付ける中心的な役割をする「コーディネーター」と呼ばれる専門家がいます。
国は、「コーディネーター」を高校の職員などにすることを進めた方が良いという方針を示しました。
ただし、「コーディネーター」をする人を育てたり、見つけたりすることが難しいという課題があります。
- 現在、小さな高校での学習を改善することが話し合われています。
その中で、他の高校と連携することが必要だと示されました。
ただし、連携する高校同士で時間割や行事などを合わせなければならないという課題があります。

県立高校の将来の姿

- 生徒が学習したいと思う気持ちを高めて、一人一人の可能性や能力を最大限発揮してもらうため、魅力ある高校づくりをさらに進めます。
また、各高校は生徒を育てる方針を定めて、授業などに取り組み、県教育委員会はそれを支援します。
- 岩手県でこれまで育ててきた各高校と地域・企業・大学などとの協力関係をさらに深めます。
また、県教育委員会はその取組を継続できる支援をします。
- 「コーディネーター」を育てたり、増やしたりすることを、国や他の県の取組に注意しながら目指します。
- 学校同士で連携することの良い点とうまいいかない点をよく考えて、取組を広げることを目指します。